

★★令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業検証★★

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
1	1	単	公共的空間安全・安心確保事業	総合事務局	①感染拡大防止を図る。 ②感染防止のための予防物品の購入。 ③手指消毒液 投票所 1,500円×25投票所×3本×1.1=123,750円 (期日前投票所1か所含む。) 開票所 1,500円×1開票所×5本×1.1=8,250円 清拭消毒液780円×40本×1.1=34,320円 マスク(所持していない選挙人等 40%+αで積算) 13.5円×11,000人×1.1=163,350円 使い捨て手袋(使用を希望する選挙人 40%で積算) 1.5円(税込み)×20,000人=30,000円 鉛筆交換対策物品(鉛筆、鉛筆けずり等) 鉛筆1ダース384円×96×1.1=40,550円 鉛筆けずり300円×24か所×1.1=7,920円 感染防止ビニールカーテン、フェイスシールド等 ビニールカーテンポール220円×180本×1.1=43,560円 ポール土台金具68円(税込み)×150=10,200円 ビニール固定クリップ40個入879円×2箱×1.1=1,933円 フェイスシールド118円×500個×1.1=64,900円 ④選挙人、投票管理者、立会人、事務従事者	R2.7.1	R2.11.30	529,000	528,733	-	528,733	-	-	選挙執行時の投票所におけるクラスター発生などによる感染拡大を予防する観点から、選挙人、選挙事務従事者の使用する消耗品類を整備した。 ・手指消毒液(投票所・開票所用) @1,500円×25投票所×3本×1.1=123,750円 @1,500円×1開票所×5本×1.1=8,250円 ・清拭消毒液 @780円×40本×1.1=34,320円 ・マスク @13.5円×11,000人×1.1=163,350円 ・使い捨て手袋 @1.5円(税込)×20,000人=30,000円 ・鉛筆交換対策物品(鉛筆、鉛筆けずり等) 鉛筆1ダース @384円×96箱×1.1=40,550円 鉛筆けずり @300円×24か所×1.1=7,920円 ・ビニールカーテンポール @220円×180本×1.1=43,560円 ・ポール土台金具 @68円(税込)×150個=10,200円 ・ビニール固定クリップ @40個入879円×2箱×1.1=1,933円 ・フェイスシールド @118円×500個×1.1=64,900円	選挙執行時は、イベント等の開催には一定の制限が付される状況下であり、感染拡大の予防には十分に意を用いて選挙を執行する必要があった。 本事業の執行により投票所内の設備等の整備を行った結果、選挙期日を挟んで2週間程度の期間において市内の感染者数が増加傾向に転ずることなく推移しており、選挙を契機とした感染拡大の予防に一定の効果があったものと考えられる。 また、各種選挙において下落傾向の続いている投票率が前回を上回る結果となったことから、投票の際の感染を危惧した選挙人が投票行動を控えることなく選挙を執行することができたことも、本事業の二次的効果として挙げられる。
2	3	単	公共的空間安全・安心確保事業	長寿社会推進課	①感染拡大防止を図る。 ②施設利用者の感染予防 ③非接触型体温計 @7,150×10=71,500 消毒液@1,870×84=157,080 シャワーポンプ(ノズル部分)@473×15本=7,095 マスク配送料 3,730円 ④社会福祉施設の指定管理者	R2.6.18	R2.10.26	240,000	239,405	-	239,405	-	-	施設利用者の体温の確認により感染予防対策を行った ・非接触型体温計 @7,150円×10個=71,500円 ・消毒液 @1,870円×84本=157,080 ・シャワーポンプ(ノズル部分) @473円×15本=7,095円 ・マスク配送料 3,730円	入館時における体温チェックや手指の消毒を行ったことで、対象施設を利用したことによる感染事象なし
3	4	単	公共的空間安全・安心確保事業	保険年金課	①保健事業対象者の感染及び感染拡大の予防のため ②非接触型体温計、マスク等の購入経費 ③非接触型体温計 @14,000×3台×1.1=46,200 サージカルマスク @13.5×10,000枚×1.1=148,500 消毒液 @1,700×30個×1.1=56,100 アクリルパーテーション @11,100×1個×1.1=12,210 @6,950×9個×1.1=68,805 【保健事業対象者来所時の消毒に関する消耗品(すべて単価税込)】49,166円 内訳 アルコール除菌スプレー 合計3,834円(@598×1=598、@348×2=696、@508×5=2,540) アルコール除菌ウェットティッシュ 合計7,470円(@498×5=2,490、@298×10=2,980、@250×8=2,000) アルコール除菌スプレー詰替 合計2,656円(@488×3=1,464、@298×4=1,192) 除菌スプレー @249×2=498 アルコール消毒液@1980×6=11,880 ポリ手袋 合計7,132円(@998×3=2,994、@398×1=398、@374×10=3,740) ティッシュペーパー 合計2,960円(@288×3=864、@228×1=228、@220×2=440、@268×3=804、@208×3=624) 保存袋 合計2,388円(@110×15=1,650、@108×5=540、@198×1=198) ボールペン 合計7,836円(@90×7=630、@338×5=1,690、@100×2=200、@438×7=3,066、@80×2=160、@358×4=1,432、@658×1=658) ペンスタンド@198×7=1,386 紙コップ @128×3=384 台ふきん @198×3=594 キッチンペーパー@148×1=148 ④特定健診、特定保健指導、健康教室等対象者	R2.6.1	R3.3.31	381,000	380,981	-	380,981	-	-	特定健診や特定保健指導等の保健事業において、検温やアルコール消毒の実施を行った。また特定健診受診者等には、事前当日用マスクを郵送・手渡しし、感染拡大防止を徹底した。 窓口では、消毒済みボールペンを使用してもらうように徹底した。 【実績値】 非接触型体温計 @14,000円×3台×1.1=46,200円 サージカルマスク @13.5円×10,000枚×1.1=148,500円 消毒液 @1,700×30個×1.1=56,100円 アクリルパーテーション @11,100円×1個×1.1=12,210円、 @6,950円×9個×1.1=68,805円 【保健事業対象者来所時の消毒に関する消耗品(すべて単価税込)】49,166円 <内訳> アルコール除菌スプレー 合計3,834円(@598×1=598円、@348円×2=696円、@508円×5=2,540円) アルコール除菌ウェットティッシュ 合計7,470円(@498円×5=2,490円、@298円×10=2,980円、@250円×8=2,000円) アルコール除菌スプレー詰替 合計2,656円(@488円×3=1,464円、@298円×4=1,192円) 除菌スプレー @249円×2=498円 アルコール消毒液@1980円×6=11,880円 ポリ手袋 合計7,132円(@998円×3=2,994円、@398円×1=398円、@374円×10=3,740円) ティッシュペーパー 合計2,960円(@288円×3=864円、@228円×1=228円、@220円×2=440円、@268円×3=804円、@208円×3=624円) 保存袋 合計2,388円(@110円×15=1,650円、@108円×5=540円、@198円×1=198円) ボールペン 合計7,836円(@90円×7=630円、@338円×5=1,690円、@100円×2=200円、@438円×7=3,066円、@80円×2=160円、@358円×4=1,432円、@658円×1=658円) ペンスタンド@198円×7=1,386円 紙コップ @128円×3=384円 台ふきん @198円×3=594円 キッチンペーパー@148円×1=148円	特定健診の集団健診や健康教室等の場面では、事前のマスクの配布によりマスク着用率が100%となった。また、非接触型体温計での測定やアルコール消毒を会場入り直前に行う等感染拡大防止対策を徹底することができたため、クラスターの発生等はなかった。 課題としては、検温や消毒等を行うために事業実施に人手がいる。ボールペンは毎回消毒し、1日に何度も定期的窓口のテーブルや椅子なども消毒を行っているが、労力がかかるためもう少し簡単にできる方法がないか検討した。

一連No.	実施計画No.	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
4	5	単	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	①飛沫防止対策を講じ、感染症拡大防止を図る。 ②飛沫感染防止のための窓用パーティションの購入 ③W700×H600 8,250円×23個 W900×H600 9,900円×30個 ④来庁者、職員	R2.4.1	R2.5.31	487,000	486,750	-	486,750	-	-	飛沫防止対策を講じ、感染症拡大防止を図る。 飛沫感染防止のための窓用パーティションの購入 W700×H600 8,250円×23個=189,750円 W900×H600 9,900円×30個=297,000円	来庁者及び職員への新型コロナウイルス感染の予防に効果があった。
5	6	単	子ども安全・安心確保事業	教育総務課	①学校再開に際し、児童生徒の学校生活における安全を確保 ②全児童生徒に配布する布マスクの購入経費 ③布マスクの購入2,436千円(16校園分) ④幼稚園2園、小学校10校、中学校4校	R2.4.1	R2.7.31	2,436,000	2,435,664	-	2,435,664	-	-	学校再開に際し、児童生徒の学校生活における安全確保のため布マスクを購入し、配布を行った。 布マスクの購入(16校園分) @420円×2,892個×1.1=1,336,104円 @400円×2,498個×1.1=1,099,560円	全国的にマスクの需要が急増して供給が追い付いていない中、市立小中学校幼稚園の全児童生徒園児に地産産業である泉州タオルを活用した布マスクを配布することで、学校園生活における安全を確保することができた。
6	8	単	子ども安全・安心確保事業	指導課	①学校園教職員及び児童生徒等の検温や消毒の実施等により感染拡大の予防を図る。 ②手指消毒液、使い捨てマスク、石鹸液、ペーパータオル、除菌洗剤購入費 ③手指消毒液 (@2,200円×400本)=880千円、マスク(@20円×5900枚)=118千円、石鹸液(@8,000円×15缶)=120千円、ペーパータオル(@200円×500個)=1,000千円、除菌洗剤(@4,000円×400本)=1,600千円 ④東南市立学校園の教職員、児童生徒、保護者等関係者	R2.4.1	R3.3.31	3,718,000	1,173,307	-	1,173,307	-	-	学校園教職員及び児童生徒等の検温や消毒の実施等により感染拡大の予防を図った。 手指消毒液@5,280円×90本+@8,640円×45缶=864,000円、マスク@990円×80箱=79,200円、石鹸液@8,745円×10缶=87,450円、ペーパータオル@3,630円×18箱=65,340円、除菌洗剤@3,995円×5本=19,975円、除菌シート、電池、その他消耗品 57,342円	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入することができ、感染症対策に大いに有効であった。また、物資を供給することにより、教職員や児童生徒等の安心・安全に繋げることができた。
7	10	単	図書館・文化ホール等感染防止対策事業	文化振興課	①感染拡大防止を図る。 ②施設利用者の感染予防 ③備品購入費(アクリル板) 窓口付@9,800円×6枚×1.1=64,680円 L字@14,800円×2枚×1.1=32,560円 スタンディング@5,740円(税込)×4枚=22,960円 大@1,680円(税込)×6枚=10,080円 特大@2,570円(税込)×6枚=15,420円 ハネルスタッド@194円(税込)×5枚=970円 消耗品費 消毒液1L@1,700円×20個×1.1=37,400円 消毒液5L@4,800円×3個×1.1=15,840円 消毒液ホップ@17,600円×1個×1.1=19,360円 除菌クリーナー@248円(税込)×6個=1,488円 除菌ハンドソープ@308円(税込)×1個=308円 除菌洗剤@198円(税込)×1個=198円 飛沫防止シート@1,780円(税込)×1枚=1,780円 アルシート@298円(税込)×1枚=298円 留めクリップ@816円×3個×1.1=2,692円 サモ用タップ@998円(税込)×1個=998円 体温計電池@328円(税込)×6個=1,968円 ④施設利用者、職員	R2.6.1	R3.3.25	229,000	229,000	-	229,000	-	-	施設利用者の感染予防、感染拡大防止をはかるため、アクリル板や消毒液等を購入した。 備品購入費(アクリル板) 窓口付@9,800円×6枚×1.1=64,680円 L字@14,800円×2枚×1.1=32,560円 スタンディング@5,740円(税込)×4枚=22,960円 大@1,680円(税込)×6枚=10,080円 特大@2,570円(税込)×6枚=15,420円 ハネルスタッド@194円(税込)×5枚=970円 消耗品費 消毒液1L@1,700円×20個×1.1=37,400円 消毒液5L@4,800円×3個×1.1=15,840円 消毒液ホップ@17,600円×1個×1.1=19,360円 除菌クリーナー@248円(税込)×6個=1,488円 除菌ハンドソープ@308円(税込)×1個=308円 除菌洗剤@198円(税込)×1個=198円 飛沫防止シート@1,780円(税込)×1枚=1,780円 アルシート@298円(税込)×1枚=298円 留めクリップ@816円×3個×1.1=2,692円 サモ用タップ@998円(税込)×1個=998円 体温計電池@328円(税込)×6個=1,968円	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら図書館及び文化ホールへの利用者の来館や事業を実施することができた。
8	11	単	公共的空間安全・安心確保事業	保健推進課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、必要な物品を購入するため ②感染防止のための物品の購入費(需用費) ③ 非接触型体温計 10台: ¥66,000 サージカルマスク200箱: ¥319,000 スプラッシュシート427個: ¥305,305 ガウン200枚: ¥176,000 シューズカバー100足: 19,800 消毒液109本: ¥111,500 ゴム手袋1,000双: ¥18,260 消毒用カット綿: ¥924 ④保健センター来館者、職員	R2.6.1	R3.3.31	1,017,000	1,016,789	-	1,016,789	-	-	保健センター内の新型コロナウイルス感染防止対策のため下記の物品を購入し、感染防止に努めた。 ・非接触型体温計 10台: ¥66,000 ・サージカルマスク200箱: ¥319,000 ・スプラッシュシート427個: ¥305,305 ・ガウン200枚: ¥176,000 ・シューズカバー100足: 19,800 ・消毒液109本: ¥111,500 ・ゴム手袋1,000双: ¥18,260 ・消毒用カット綿: ¥924	感染予防品の消毒液やマスクなどの使用により、保健センター来館者や、市民のもとへの訪問時の、新型コロナウイルス感染防止に寄与した。保健センターでの事業時、来庁者の速やかな体温測定ができ、事業がスムーズに実施することができた。
9	13	単	防災活動支援事業	危機管理課	①災害時の避難所となる施設において、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な物資を整備することにより、感染拡大防止を図る。 ②備蓄物資の購入に要する経費(消毒液、サージカルマスク、間仕切りパーティション) ③対象数: 約4,000人(南海トラフ地震避難所生活者数3,826人) 消毒液 187,495円(1,650円/本×70本+1,309円/本×55本(35避難所×3本+20本)) サージカルマスク 950,400円(14.85円/枚×64,000枚) 間仕切りパーティションテント型 2,728,000円(34,100円/1張×80張) 間仕切りパーティションクイック型 1,250,150円(25,850円/1張×20張+23,650円/張×31張) ④対象者: 3,826人、対象施設数: 35箇所	R2.10.1	R3.3.31	5,117,000	5,116,045	-	5,116,045	-	-	災害時の避難所となる施設において、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な物資を整備することにより、感染拡大防止を図った。 対象数: 約4,000人(南海トラフ地震避難所生活者数3,826人) 消毒液 187,495円(1,650円/本×70本+1,309円/本×55本(35避難所×3本+20本)) サージカルマスク 950,400円(14.85円/枚×64,000枚) 間仕切りパーティションテント型 2,728,000円(34,100円/1張×80張) 間仕切りパーティションクイック型 1,250,150円(25,850円/1張×20張+23,650円/張×31張)	(検証)コロナ禍において避難所を開設する場合に感染症対策を行い避難所を受け入れる体制を一定整備することができた。 (課題)多くの備蓄物資の備蓄場所の確保や適正な維持管理、また消耗品等は消費期限の適切な認識と適宜入替えの必要

一連No.	実施計画No.	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
10	14	単	給食安全・安心提供事業	教育総務課	①夏季に学校給食を安全かつ安心して提供するため、学校配膳室における衛生環境を向上させる ②各小学校の配膳室に衛生設備を配置 ③給食係児童用エンボス手袋(⑤10×32箱=16,320円、⑥115.5×1,889箱=218,179円、⑦132×873箱=115,236円、⑧143×152箱=21,736円、⑨284.48×1,890箱=537,667円、⑩283.8×1,690箱=479,622円) スポットクーラー(①04,060×10台=1,040,600円、工事費127,485+38,500=165,985円、消耗品費14千円) オートサニテーション(②33,200×8台=1,865,600円)、2槽シンク(③201,300×3台=603,900円、④182,600×2台=365,200円)、工事費(131千円) ④市内小学校10校	R2.5.1	R3.3.31	5,574,000	5,573,939	-	5,573,939	-	-	各小学校の配膳室に衛生設備を配置し、学校配膳室における衛生環境を向上させた。 給食係児童用エンボス手袋(⑤10×32箱=16,320円、⑥115.5×1,889箱=218,180円、⑦132×873箱=115,236円、⑧143×152箱=21,736円、⑨284.48×1,890箱=537,680円、⑩283.8×1,690箱=479,622円) スポットクーラー(①04,060×10台=1,040,600円、工事費127,485+38,500=165,985円、消耗品費13,200円) オートサニテーション(②33,200×8台=1,865,600円)、2槽シンク(③201,300×3台=603,900円、④182,600×2台=365,200円)、工事費等130,680円	学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」に記載のあるとおり、給食の配食時等については、エンボス手袋の使用により、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減することができた。 また、各小学校の配膳室に衛生設備等を設置することにより、衛生環境を向上し、配膳時の感染リスクを低減することができた。
11	17	単	休業要請支援金(府・市町村共同支援金)事業	産業観光課	①緊急事態措置により大阪府からの施設の使用制限による休業要請等を受け、特に深刻な影響を被っている市内中小企業・個人事業主に対し、家賃等の固定費を支援し、事業継続を支援する。 ②中小企業100万・個人事業主50万円を定額支給 ③負担金102,500千円(50万円/法人×57法人、25万円/個人×296個人) ④市内中小企業、個人事業主	R2.5.1	R3.3.31	205,000,000	81,500,000	-	40,750,000	40,750,000	-	緊急事態措置により大阪府からの施設の使用制限による休業要請等を受け、特に深刻な影響を被っている市内中小企業・個人事業主に対し、家賃等の固定費を支援し、事業継続を支援した。中小企業100万、個人事業主50万円の支給を行った。 負担金(事業費×1/2)=40,750,000千円(50万円/法人×19法人、25万円/個人×125個人)	緊急事態措置に基づく休業要請等を受けた幅広い業種の事業者に対して支援を講ずることができた。
12	18	単	テイクアウト・デリバリー支援事業	産業観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店等の感染拡大防止のための取組を支援することで、地域経済の活性化を図る。 ②飲食店等のテイクアウト・デリバリー等を行うことにより、感染拡大を予防するとともに売上げを確保するための新たなサービスの開始、若しくは拡充を実施するための経費 ③テイクアウト・デリバリーを行うための必要経費の3/4を補助(上限20万円) 20万円×50件 ④市内中小企業、個人事業主	R2.6.1	R3.3.31	10,000,000	5,100,000	-	4,593,000	-	507,000	飲食店等によるテイクアウト・デリバリー等を通じた感染拡大を予防するとともに売上げを確保するための新たなサービスの開始、若しくは拡充を実施するための経費を補助した。 交付実績 5,100,000円(26件)	飲食店によるテイクアウト・デリバリー事業のスタートアップを支援できたほか、専用サイトや看板作成など、広く飲食業を支援する取組みに対しても支援を行うことができた。
13	22	補	公立学校情報機器整備費補助金	指導課	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①コロナによる臨時休校時を想定したオンライン授業用のため、webカメラを各校園に配置する。 ②PC用webカメラ ③@2,714円×14校×10台=380千円 ④泉南市立小中学校14校	R2.4.1	R3.3.31	380,000	381,920	190,000	190,000	-	1,920	学校からの遠隔学習機能の強化事業としてコロナによる臨時休校時を想定したオンライン授業用のため、webカメラを各校園に配置した。 @2,728円×140台=381,920円	オンライン授業用のwebカメラを各校に配置し、リモートに対応できる仕組みを整えることができた。
14	24	単	保育施設登園自費負担額(保育料、給食費)の減額に係る必要経費補助事業	保育子ども課	①感染拡大対策として実施する登園自費要請を、利用者及び保育事業者の理解のもと円滑に行うため、利用者負担額減額に係る必要経費を市が補助することで、登園自費を効果的に実施することができる。 ②利用者負担額(保育料・給食費)減額に係る必要経費(返金する給食費・返金に係る振込手数料・返金に係る事務費・返金に係る役務費・返金を安全安心かつ円滑に行うために係るその他経費) ③積算根拠 ※4月1日～6月30日まで(家庭保育協力依頼期間) 必要経費 5,094,000円 【1】減額に係る需用費 146,000円 消耗品費(体温計) 22本×6,600円=145,200円 【2】減額に係る役務費 137,000円 郵便料 1453件×94円=136,582円 【3】減額に係る委託料(1か所) 468,000円 保育料経費 55件×1000円=55,000円 給食費経費 75件×5,500円=412,500円 【4】減額に係る補助金(8か所) 4,343,000円 保育料経費 369件×1000円=369,000円 給食費経費1号 394件×4,362円=1,719,000円 給食費経費2号 410件×5,500円=2,255,000円 ④交付対象者 市内認可保育施設等(9カ所)	R2.4.1	R3.3.31	5,094,000	2,907,568	-	2,907,568	-	-	感染拡大対策として実施する登園自費要請を、利用者及び保育事業者の理解のもと円滑に行うため、利用者負担額減額に係る必要経費を市が補助することで、登園自費を効果的に実施することができた。 積算根拠 ※4月1日～6月30日まで(家庭保育協力依頼期間) 【1】減額に係る需用費 149,000円 消耗品費(体温計) 20本×7,150円=143,000円 【2】減額に係る役務費 4,200円 切手代 50枚×84円=4,200円 【3】減額に係る委託料(1か所) 333,440円 保育料経費 59件(19.6件/月)・29,500円(500円/件) 給食費経費 108件(36件/月)・303,940円(2,814.2円/件) 【4】減額に係る補助金(8カ所) 2,426,928円 保育料経費 270件(90件/月)・270,000円(1,000円/件) 給食費経費 775件(258.3件/月)・2,156,928円(2,783.1円/件)	感染拡大対策として実施する登園自費要請を、利用者及び保育事業者の理解のもと円滑に実施することができた。

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	【実施計画】 総事業費 (円)	【実績】 総事業費 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
15	25	単	水道基本料金 半額減免事業	下水道課	①在宅時間の長期化で家庭の水道使用量が増加することに伴う経済的負担の軽減や、売上減少により事業継続が厳しい事業者等の経済活動を支援するため、水道料金の基本料金を6か月間半額減免する ②大阪広域水道企業団田尻水道センターに繰り出し、基本料金減免に係る実費 ③減免金額(税込) 6月分 82,690円 7月分 82,120円 8月分 81,580円 9月分 82,460円 10月分 83,080円 11月分 82,680円 計 494,610円・・・(A) 用水供給経減額 109,520円・・・(B) 市負担額(A)-(B)=385,090円 ④減免対象地区 府宮岡田住宅・北野	R2.6.1	R3.3.31	386,000	385,090	-	385,090	-	-	在宅時間の長期化で家庭の水道使用量が増加することに伴う経済的負担の軽減や、売上減少により事業継続が厳しい事業者等の経済活動を支援するため、水道料金の基本料金を6か月間半額減免を行った。 減免金額(税込) 6月分 82,690円 7月分 82,120円 8月分 81,580円 9月分 82,460円 10月分 83,080円 11月分 82,680円 計 494,610円・・・(A) 用水供給経減額 109,520円・・・(B) 市負担額(A)-(B)=385,090円 減免対象地区 府宮岡田住宅・北野	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い住民生活や地域経済に多大な影響を及ぼす事態となったことから、水道料金の基本料金を2分の1減額することにより、市民の経済的な負担軽減を図った。
16	26	単	市指定ごみ袋 無料配布事業	清掃課	①在宅時間の長期化で家庭ごみの増加が見込まれることから、市指定ごみ袋(家庭系可燃ごみ指定袋)を無料で支給する ②市指定ごみ袋売上減少に充当 ③【無料配布分ごみ袋販売委託料】30円(30L1セット[10枚]の手数料)×25,000世帯×1回分=750千円 【無料配布分ごみ袋作成費】@6.1円(1枚当たり単価)×10(1セット当たり枚数)25,000世帯=1,525千円 【無料引換券用紙代】@3.9円(1枚当たり単価)×25,000枚×1.1(消費税)=107千円 ④市内各世帯	R2.5.1	R3.3.31	2,382,000	1,735,929	-	1,735,929	-	-	広報誌に無料引換券を折込み配布することで、家庭系30L可燃ごみ指定袋の無料支給を行った。 【無料配布分ごみ袋販売委託料】 30円(30L1セット[10枚]の手数料)×18,006世帯×1回分=540,180円 【無料配布分ごみ袋作成費】 @6.1円(1枚当たり単価)×10(1セット当たり枚数)18,006世帯=1,098,366円 【無料引換券用紙代】 @3.9円(1枚当たり単価)×22,700枚×1.1(消費税)=97,383円	無料引換券配布直後のR2年度6月の可燃ごみ収集量が、その前年度同月に比べ100t近く増加していたため、ごみ袋の無料支給は一定の効果があったと思われる。 事業開始までのスケジュールがタイトであったため、協力店への説明など関係各所との調整が難しかった。
17	27	補	学校臨時休業 対策費補助金	教育総務課 (給食センター)	①R2.3月以降の学校の臨時休業に伴う学校給食の中止に伴い発生した、食材費、違約金及び学校給食費を保護者へ返還するための手数料等において、給食費を管理運用する学校給食会等を支援 ②学校臨時休業対策補助金の地方負担分及び学校給食会等が負担する4月以降に発注した食材費に充当 ③学校給食会(小学校)7,819千円、中学校給食会2,349千円 ④学校給食会、中学校給食会	R2.4.1	R3.3.31	10,168,000	10,166,876	6,702,000	3,464,876	-	-	R2.3月以降の学校の臨時休業に伴う学校給食の中止に伴い発生した、食材費、違約金及び学校給食費を保護者へ返還するための手数料等について、給食費を管理運用する学校給食会等を支援を行った。 ・学校給食会(小学校)7,818,765円、中学校給食会2,348,111円	学校の臨時休業に伴う学校給食の中止に伴い発生した、食材費、違約金及び学校給食費を保護者へ返還するための手数料等について、給食費を管理運用する学校給食会等へ支援することにより、学校臨時休業対策補助金の地方負担分及び学校給食会等が負担する4月以降に発注した食材費に充当し、保護者の経済的負担の軽減に寄与することができた。
18	28	単	公共的空間 安全・安心確保 事業	総務課	①体温を可視化することで発熱の疑いのある人を早期に発見し、感染拡大の防止を図る。 ②市役所本庁設置及び貸出用サーモグラフィーの購入経費 ③サーモグラフィー3台・専用ブランケット2台 ・モニター型:325,220円×1台×1.10=357,742円 ・タブレット型(スタンド含む):220,940円×2台×1.10=486,068円 ④来庁者、職員	R2.7.1	R2.8.31	844,000	843,810	-	843,810	-	-	市役所本庁設置及び貸出用サーモグラフィーの購入し、来庁者の体温を可視化を図り、新型コロナウイルスの感染防止に努めた。 サーモグラフィー3台・専用ブランケット2台 ・モニター型:325,220円×1台×1.10=357,742円 ・タブレット型(スタンド含む):220,940円×2台×1.10=486,068円	来庁者の体温を測ることにより発熱の疑いのある人を早期に発見し、感染拡大の防止を図ることができた。
19	29	単	公共的空間 安全・安心確保 事業	人権推進課	①感染症予防のための資材を配布し、感染及び感染拡大の予防を徹底する。 ②マスク、消毒液等の購入 ③非接触型体温計 5個×6,600円=33,000円 2個×5,478円=10,956円 体温計 5個×2,475円=12,375円 消毒液 20本×1,419円=28,380円 6本×5,280円=31,680円 マスク 500枚(10箱)×13.5円=7,425円 フェイスシールド 1,000個×121円=121,000円 サーモグラフィー 1台×243,034円=243,034円 ④市民交流センター来館者、職員	R2.8.25	R2.12.25	488,000	487,850	-	487,850	-	-	感染拡大防止のための環境整備を行う。 非接触型体温計 5個×6,600円=33,000円 2個×5,478円=10,956円 体温計 5個×2,475円=12,375円 消毒液 20本×1,419円=28,380円 6本×5,280円=31,680円 マスク 500枚(10箱)×13.5円×1.1=7,425円 フェイスシールド 1,000個×121円=121,000円 サーモグラフィー 1台×243,034円=243,034円	感染症予防の環境整備をおこなうことにより、施設利用者に安心して施設の利用をしていただくため、講演会・講座等に参加していただいた。
20	30	単	公共的空間 安全・安心確保 事業	長寿社会推進課	①感染拡大防止を図る。 ②施設利用者の感染予防に係る備品代及び修繕費 ③サーモグラフィーの設置に係る備品購入費 @357,742×2台=715,484円 ・空調修繕費用 1,518,000円 ④総合福祉センター来館者、職員	R2.8.11	R3.3.31	2,234,000	2,233,484	-	2,233,484	-	-	施設利用者の感染予防対策としてサーモグラフィの設置及び空調設備について修繕を行い感染拡大の防止を図った。 ・サーモグラフィーの設置に係る備品購入費 @357,742×2台=715,484円 ・空調修繕費用 1,518,000円	入館時における体温チェックを行ったことで、利用者への啓発にもつながった。また、猛暑極寒時に換気のため、窓を開けることができたことにより、対象施設を利用したことによる感染事象なし
21	31	単	公共的空間 安全・安心確保 事業	家庭支援課	①地域子育て支援センターひだまり及びファミリーサポートセンター職員及び利用者への新型コロナウイルス感染症拡大防止。 ②非接触型体温計の購入経費 ③7台分 110,000円(税込み) ④ひだまり・ファミリーサポートセンター利用者、職員	R2.8.7	R2.8.11	110,000	46,200	-	46,200	-	-	地域子育て支援センターひだまり及びファミリーサポートセンター職員及び利用者への新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非接触型体温計を購入した。 1台6,600円(税込み)×7台=46,200円	手軽で素早く検温できる非接触型体温計を導入したことで新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、職員及び利用者の体調管理が容易になった。

一連No.	実施計画No.	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	【実施計画】 総事業費 (円)	【実績】 総事業費 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証	
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)			
22	32	単	公共的空間安全・安心確保事業	保健推進課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止するため、保健センター来館者で発熱の有無の確認を行うため ②自動体温測定器の購入費用(備品購入費) ③自動体温計測定カメラ @357,742(税込)×1台=357,742円 ④保健センター来館者、職員	R2.7.1	R3.3.31	358,000	357,742	-	357,742	-	-	令和2年8月に保健センターの入り口に自動体温測定モニターを1台設置する。 来館者・職員に体温のチェックをしてもらう。 自動体温計測定カメラ @357,742(税込)×1台=357,742円	入館時に体温のチェックをしてもらうことにより、新型コロナウイルス感染の疑いのある方を入館前に確認することができ、感染拡大防止に寄与した。	
23	33	単	公共的空間安全・安心確保事業	環境整備課	①新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、火葬場来場者の発熱の有無を確認するため ②自動体温測定器の購入費用(備品購入費) ③自動体温計測定カメラ @438,000円(税込)×1台=438,000円 ④火葬場来場者、職員	R2.7.1	R3.3.31	438,000	357,742	-	357,742	-	-	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、火葬場来場者の発熱の有無を確認した。 自動体温計測定カメラ @357,742円(税込)×1台=357,742円	自動体温計測定カメラを設置することにより火葬場来場者の発熱の有無をスムーズに確認することができ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に一定の効果があった。課題等としては外気温によって測定値に誤差が生じる例が見られた。	
24	34	単	公共的空間安全・安心確保事業	生涯学習課	①留守家庭児童会職員及び利用者の検温を実施し、感染拡大を防止する。 ②非接触体温計購入費 ③@6,600円×20本=132,000円 ④留守家庭児童会職員、利用者	R2.7.1	R2.8.31	132,000	132,000	-	132,000	-	-	留守家庭児童会職員及び利用者の検温を実施し、感染拡大を防止するため非接触体温計を購入した。 @6,600円×20本=132,000円	非接触型体温計を購入することで、感染拡大防止を図りつつ安全に留守家庭児童会を運営できた。	
25	35	単	公共的空間安全・安心確保事業	文化振興課	①公民館の来館者・職員の体温測定を徹底を図る。また、災害時の避難所となっている新家公民館の空調設備を更新し、快適な室内環境を実現することで、利用者の体調を整えて、感染予防するため。 ②各公民館でのサーモグラフィの購入、及び新家公民館(避難館)の空調設備更新。 ③サーモグラフィ 4台 278,000円×4台×1.1=1,223,200円 専用フック 4台 32,000円×4台×1.1=140,800円 空調設備の更新一式 2,333,000円 ④公民館来館者、職員	R2.7.1	R2.8.31	3,697,000	3,305,126	-	3,305,126	-	-	公民館の来館者・職員の体温測定を徹底を図るため市内4公民館にサーモグラフィを設置した。 また、災害時の避難所となっている新家公民館において、快適な室内環境を実現することで、利用者の体調を整えて、感染予防するため空調設備の更新を行った。 ・アクセスコントロール機能付サーマルカメラ及びスタンド 4台 220,940円×4台×1.1=972,136円 ・新家公民館空調設備の更新一式 2,332,990円	公民館の来館者・職員の体温測定を徹底を図ることができた。また、災害時の避難所となっている新家公民館の空調設備を更新し、快適な室内環境を保つことで利用者の体調を整えて、感染予防することができた。	
26	36	単	公共的空間安全・安心確保事業	文化振興課	①図書館及び文化ホールの来館者・職員の徹底を図る。 ②図書館及び文化ホール用サーモグラフィ、非接触型体温計の購入 ③サーモグラフィ 2台 @325,220円×2台×1.1=715,484円 非接触型体温計 16台 @6,000円×16台×1.1=105,600円 ④図書館及び文化ホール来館者、職員	R2.7.30	R2.9.25	822,000	821,084	-	821,084	-	-	図書館及び文化ホール来館者・職員の検温を実施し、感染拡大を防止するため非接触型体温計・サーモグラフィを購入した。 サーモグラフィ 2台 @325,220円×2台×1.1=715,484円 非接触型体温計 16台 @6,000円×16台×1.1=105,600円	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら図書館及び文化ホールへの利用者の来館や事業を実施することができた。	
27	37	単	公共的空間安全・安心確保事業	生涯学習課	①泉南市埋蔵文化財センター職員及び来館者の検温を実施し、感染拡大を防止する。 ②非接触体温計購入費及びアルコール購入費 ③(非接触体温計)@6,600円×5本=33,000円 (アルコール)@2,068円×3本=6,204円 ④埋蔵文化財センター来館者、職員	R2.9.1	R3.2.28	40,000	39,204	-	39,204	-	-	埋蔵文化財センターの利用者や事業実施に伴う感染症拡大防止のため、非接触体温計とアルコールを購入した。 (非接触体温計)@6,600円×5本=33,000円 (アルコール)@2,068円×3本=6,204円	非接触型体温計及び手指消毒用のアルコールを購入したことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら施設利用者の受け入れや事業を実施することができた。	
28	38	単	公共的空間安全・安心確保事業	生涯学習課	①市民体育館職員及び来館者の検温を実施し、感染拡大を防止する。 ②非接触体温計・サーモカメラ購入費 ③(非接触体温計)@6,600円×6本=39,600円 (サーモカメラ)@357,742円×2台=715,484円 ④体育館2館来館者、職員	R2.7.1	R2.9.30	756,000	755,084	-	755,084	-	-	体育館利用者及び職員の検温を実施し、感染拡大を防止するため非接触体温計・サーモカメラを購入した。 (非接触体温計)@6,600円×6本=39,600円 (サーモカメラ)@357,742円×2台=715,484円	非接触型体温計を購入することで、感染防止、感染拡大防止につながり安全性を高めることができた。	
29	39	単	子ども安全・安心確保事業	保育子ども課	①保育施設等の児童の健康保持のため、冷却タオルを各施設に配布する。 ②冷却タオル購入費用 ③積算根拠 必要経費 1,595,000円 1,450枚×1,100円 ④市内認可保育施設等(12カ所)	R2.7.1	R3.8.31	1,595,000	1,355,750	-	1,355,750	-	-	市内認可保育施設等(12カ所)の児童の健康保持のため、冷却タオルを各施設に配布した。 冷却タオル 1,450枚×@935円=1,355,750円	感染症予防に配慮した、熱中症の対策を実施することができた。	
30	40	単	子ども安全・安心確保事業	指導課	①学校園の再開にあたり、幼稚園、小・中学校の児童生徒の健康保持のため、登校園時の体温測定を徹底を図る。また、手指消毒のためアルコールならびにビニール手袋の配布により、消毒、除菌等を徹底して行い、すべての方が安全で安心できる学習・保育環境を整備する。併せて、これから暑くなる中での登下校時の熱中症予防の観点から冷感タオルを給付する。 ②手指消毒液等及び冷感タオルの購入に要する経費 ③手指消毒液(@2千円×350本×5か月×1.1)=3,850千円 手洗い消毒作業用品類(997千円) 冷感タオル(@1千円×5432人×1.1)=5,976千円 ④泉南市立幼稚園・小中学校16校園	R2.7.1	R3.3.31	10,823,000	5,077,050	-	5,077,050	-	-	-	学校園の再開にあたり、併せて、これから暑くなる中での幼稚園、小・中学校の児童生徒の登下校時の熱中症予防の観点から冷感タオルを給付した。 冷感タオル @935円×5,430人=5,077,050円	学校園の再開にあたり、幼稚園児、小・中学校児童生徒の健康保持のため、感染症予防に配慮しながら熱中症対策を実施することができた。

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	【実施計画】 総事業費 【実績】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
31	41	単	公共的空間安全・安心確保事業	指導課	①幼・小中学校の保健室に体調不良の子どもが複数集まることによる感染防止のための環境を提供する。 ②次亜塩素酸 空間除菌脱臭機(空気清浄機)購入に要する経費 ③イナソニック 次亜塩素酸 空間除菌脱臭機購入経費 ④@250千円×16校園×1台×1.1)=4,400千円 ⑤泉南市立全学校園16校園	R2.4.1	R3.3.31	4,400,000	1,295,910	-	1,295,910	-	-	幼・小中学校の保健室に体調不良の子どもが複数集まることによる感染防止のための環境を提供した。 空間除菌脱臭機 @39,270円×33台=1,295,910円	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入することができ、感染症対策に大いに有効であった。また、物資を供給することにより、教職員や児童生徒等の安全・安心に繋げることができた。
32	42	単	防災活動支援事業	危機管理課	①災害時の避難所となる施設において、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な物資を整備することにより、感染拡大防止を図ること。また、災害時の情報収集能力及び情報共有の向上を図る。 ②物資の購入に要する経費 ③対象数:避難者及び職員 約4,000人(南海トラフ巨大地震避難所生活者数3,826人)・間仕切りパーテーションクイック型 283,800円(23,650円×12張)、マンホールトイレ及びテント10台 726,000円、大型扇風機 143,990円(10,285円×14台)、スチールラック 93,654円(46,827円×2台)、災害対策本部設置用テレビ及び台(配線工事費含む)1台 265,430円、消毒液 58,905円(1,309円/本×45本)、簡易ベッド 192,280円(10,120円×19台)、iPad 1台 38,280円、タブレット補償 9,240円、無線LANルータ 11,780円、タブレットカバー 3,000円 ④対象者:避難者及び職員約4,000人、対象施設数:避難所35箇所及び市役所庁舎	R2.8.1	R3.3.31	1,827,000	1,826,359	-	1,826,359	-	-	災害時の避難所となる施設において、新型コロナウイルス感染症対策として、必要な物資を整備することにより、感染拡大防止を図り、また、災害時の情報収集能力及び情報共有の向上を図った。 対象数:避難者及び職員 約4,000人(南海トラフ巨大地震避難所生活者数3,826人)・間仕切りパーテーションクイック型 283,800円(23,650円×12張)、マンホールトイレ及びテント10台 726,000円、大型扇風機 143,990円(10,285円×14台)、スチールラック 93,654円(46,827円×2台)、災害対策本部設置用テレビ及び台(配線工事費含む)1台 265,430円、消毒液 58,905円(1,309円/本×45本)、簡易ベッド 192,280円(10,120円×19台)、iPad 1台 38,280円、タブレット補償 9,240円、無線LANルータ 11,780円、タブレットカバー 3,000円	コロナ禍において避難所を開設する場合に感染症対策を行い避難者を受け入れる体制を一定整備することができた。 多くの備蓄物資の備蓄場所の確保や適正な維持管理、また消耗品等は消費期限の適切な認識と適宜入替えが必要となる。
33	43	単	新生児支援給付事業	家庭支援課	①子育て世帯への支援 ②R2.4.28~R3.3.31の間に産まれた新生児一人につき100千円 需用費(消耗品費)、役務費(郵便料、振込手数料) ③100千円×389人=38,900千円、郵便料1,100円(84円×1,100=92,400円)、振込手数料389円(110円×389=42,720円)、振込手数料相戻し31件(880円×31=27,280円)、消耗品費15千円 ④新生児	R2.7.1	R3.3.31	39,078,000	33,931,388	-	33,931,388	-	-	R2.4.28~R3.3.31の間に産まれた(国制度の定額給付金対象後に出生した新生児が対象)新生児一人につき100千円を支給し、子育て世帯の生活の支援を行った。 給付金100千円×339人=33,900,000円、郵便料 19,640円、消耗品費 11,748円	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、R2.4.28以降に出生された子育て世帯に対し生活支援を行い、子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。
34	44	単	学校給食費無償化支援事業	教育総務課 (給食センター)	①コロナ禍の長期化が予測される中、保護者の経済的負担を軽減するため、令和2年度については、8月以降の学校給食費を無償化する。 ②学校給食費無償化支援金、中学校給食費無償化支援金 ③ ・小学校給食費 82,714千円 1,2年生 児童調定額30,462,541円、就学援助費▲5,424,160円 特別支援教育就学奨励費▲789,600円、補助対象額 24,248,781円 3,4年生 児童調定額35,796,128円、就学援助費▲6,092,200円 特別支援教育就学奨励費▲1,079,120円、補助対象額 28,624,808円 5,6年生 児童調定額37,701,666円、就学援助費▲6,815,529円 特別支援教育就学奨励費▲1,046,064円、補助対象額 29,840,073円 ・中学校給食費 45,901千円 1,2年生 生徒調定額38,514,020円、就学援助費▲6,697,180円 特別支援教育就学奨励費▲880,250円、補助対象額 30,936,590円 3年生 生徒調定額18,589,950円、就学援助費▲3,349,780円 特別支援教育就学奨励費▲276,360円、補助対象額 14,963,810円 ④学校給食会、中学校給食会	R2.6.1	R3.3.31	128,615,000	128,614,062	-	128,614,062	-	-	保護者の経済的負担を軽減するため、8月以降の学校給食費の無償化を行った。 ・小学校給食費 82,713,662円 1,2年生 児童調定額30,462,541円、就学援助費▲5,424,160円 特別支援教育就学奨励費▲789,600円、補助対象額 24,248,781円 3,4年生 児童調定額35,796,128円、就学援助費▲6,092,200円 特別支援教育就学奨励費▲1,079,120円、補助対象額 28,624,808円 5,6年生 児童調定額37,701,666円、就学援助費▲6,815,529円 特別支援教育就学奨励費▲1,046,064円、補助対象額 29,840,073円 ・中学校給食費 45,900,400円 1,2年生 生徒調定額38,514,020円、就学援助費▲6,697,180円 特別支援教育就学奨励費▲880,250円、補助対象額 30,936,590円 3年生 生徒調定額18,589,950円、就学援助費▲3,349,780円 特別支援教育就学奨励費▲276,360円、補助対象額 14,963,810円	令和2年8月から令和3年3月まで8か月分の学校給食費を無償化することにより、市内小中学校へ通学する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。
35	45	単	学校授業安全確保事業	教育総務課	①屋内運動場での授業の実施に際し、滞留した空気の換気を迅速かつ効率的に行うため、大型サーキュレーターを設置する ②サーキュレーター購入に要する経費 ③@150千円×14校×4台=8,400千円 ④市内小中学校14校	R2.8.1	R2.10.31	8,400,000	5,049,000	-	5,049,000	-	-	屋内運動場での授業の実施に際し、滞留した空気の換気を迅速かつ効率的に行うため、大型サーキュレーターの設置を行った。 56台(14校×4台)5,049,000円	学校の屋内運動場に大型サーキュレーターを設置し、授業などの際に換気を行うことで、安全・安心な教育環境での学校活動に寄与することができた。
36	46	単	児童扶養手当受給者支援給付金給付事業	家庭支援課	①ひとり親世帯の生活を支援するため、児童扶養手当受給者に対し、対象世帯に2万円を給付する。 ②対象世帯への給付金及び各種費用 ③ 事業費:20,000円×553世帯=11,060,000円 事務費:郵送料 84円×555世帯=46,620円 コピー用紙等 7,380円 ④令和2年5月分受給者	R2.5.23	R3.3.31	11,600,000	11,063,498	-	11,063,498	-	-	令和2年5月分の児童扶養手当の支給を受けている者に対し、1世帯20,000円を支給した。 事業費:20,000円×553世帯=11,060,000円 事務費:コピー用紙等 3,498円	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより、大きな困難が心身等に生じているひとり親世帯に対し生活支援を行った。

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
37	47	単	コロナ禍における緊急支援措置として、保育施設等が給食費(免除)無償化を実施することにより生じる経費に係る補助事業	保育子ども課	①コロナ禍における緊急支援措置として、保育施設等が給食費(免除)無償化を実施することにより生じる経費に係る補助事業を実施する。 ②3歳児から5歳児の給食費(食材料費)免除に係る必要経費(8か月間) ③積算根拠 必要経費 21,088,000円 【1】減額に係る指定管理委託料(1か所:浜保育所) 1,944,000円 54人×4,500円×8か月 (充当先:給食費免除に伴う歳入減に係る補助として支出する保育所事業委託料に充当) 【2】減額に係る民間保育施設補助金 16,720,000円 ①市内認可保育施設(7か所) 15,200,000円 対象者429人×給食費(1,600円～5,000円)×8か月 ②広域保育施設(7か所) 320,000円 対象者8人×給食費(4,000円～4,500円)×8か月 ③新制度未移行園(2か所) 1,200,000円 対象者132人×給食費(320円～1,600円)×8か月 (充当先:給食費免除に伴う歳入減に係る補助として支出する民間保育所等支援事業補助金に充当) 【3】減額に伴い減少す徴収金収入(給食代)の充当先である給食材料費への充当(1か所:公立認定こども園なるにっこ)2,424,000円 対象者74人×給食費(2,500円～4,500円)×8か月 (充当先:認定こども園事業 需用費給食材料費への充当) ④交付対象者 泉南市民が給付認定を受けて利用する保育施設等(18か所)	R2.8.1	R3.3.31	21,088,000	21,933,040	-	21,088,000	-	845,040	コロナ禍における緊急支援措置として、保育施設等が給食費(免除)無償化を実施することにより生じる経費に係る補助事業を実施した。 積算根拠 【1】減額に係る指定管理委託料(1か所:浜保育所) 2,007,000円 446人(55.7件/月)×2,007,000円(4,500円/件) (充当先:給食費免除に伴う歳入減に係る補助として支出する保育所事業委託料に充当) 【2】減額に係る民間保育施設補助金 17,379,840円 ①市内認可保育施設(6か所) 4108件(513.5件/月)×15,787,400円(3,835.7円/件) ②広域保育施設(7か所) 99件(12.3件/月)×345,800円(3,492.9円/件) ③新制度未移行園等(3か所) 1077人(134.6件/月)×1,246,640円(1,157.5円/件) (充当先:給食費免除に伴う歳入減に係る補助として支出する民間保育所等支援事業補助金に充当) 【3】減額に伴い減少す徴収金収入(給食代)の充当先である給食材料費への充当(1か所:公立認定こども園なるにっこ)2,546,200円 631件(78.8件/月)×2,546,200円(4,035.1円/件) (充当先:認定こども園事業 需用費給食材料費への充当)	コロナ禍における利用者及び保育施設等への経済面における緊急支援となった。
38	48	単	公共的空間安全・安心確保事業	人事課	①職員採用試験での感染機会を削減することによる3密対策 ②新型コロナウイルス感染症防止として、密空間を回避するため、テストセンター方式での教養試験問題に関する業務委託契約に係る経費 ③受験者数300名×4,000円 ④採用試験受験者	R2.7.30	R3.3.31	1,200,000	411,400	-	411,400	-	-	新型コロナウイルス感染症防止(集合会場で教養試験を実施する際の感染機会削減)として、テストセンター方式で教養試験を実施した。 受験者数85名×4,400円×1.1=411,400円	テストセンター方式で教養試験を実施したこと、新型コロナウイルス感染症防止につなげることができた。また、全国約270か所の会場で受験できるようになり、受験者数が増加した。今後は、面接試験についてもオンライン面接を活用し、対面試験と併用しながら実施していく必要がある。
39	49	単	テレワーカー向けサービス環境整備事業	総務課	①緊急事態下において会議を実施するため ②新型コロナウイルス感染症防止のため、密空間を回避しWeb会議を行う機器等を購入する経費 ③パソコン等(パソコン3台、PCリカバリディスク1本、ウイルスソフト1本、スピーカーフォン3台) 601,500円×1.10=661,650円 モバイルルータ15,000円×3台×1.10=49,500円 モバイルルータ充電器2,082円×2台×1.1=4,580円 モバイルルータ充電器2,750円×1台×1.1=3,025円 WiMAX通信料91,092円(8/26～3/31 1台、10/7～3/31 2台) ④職員	R2.8.1	R3.3.31	810,000	809,847	-	809,847	-	-	新型コロナウイルス感染症防止のため、密空間を回避しWeb会議を行う機器等を購入し、緊急事態下においても会議を円滑に行うことができる環境を整えた。 パソコン等(パソコン3台、PCリカバリディスク1本、ウイルスソフト1本、スピーカーフォン3台) 601,500円×1.10=661,650円 モバイルルータ15,000円×3台×1.10=49,500円 モバイルルータ充電器2,082円×2台×1.1=4,580円 モバイルルータ充電器2,750円×1台×1.1=3,025円 WiMAX通信料91,092円(8/26～3/31 1台、10/7～3/31 2台)	緊急事態下において、Web会議等の実施が多く、感染症リスクを低減することに効果があったと考えられる。
40	50	単	公共的空間安全・安心確保事業	総合事務局	①選挙執行時の投票票所において、選挙事務の機械化による事務の効率化と接触機会の低減及び換気効率の向上を図り、クラスター発生、従事職員への感染拡大を予防する。 ②投票所(既存公共施設(集合場等))及び開票所における選挙事務備品の整備費用 投票用紙自動交付機(投票所)及び投票用紙読取分類機の整備並びに換気効率不良が懸念される投票所へのサーキュレーター配備 ③投票用紙自動交付機(1000人以上の投票者数が見込まれる投票所6か所、及び期日前投票所2台) 250,000円×(6+2)×1.1=2,200,000円 投票用紙読取分類機増設ユニット 900,000円×1.1=990,000円 サーキュレーター(45～60cm程度のファン)前回選挙事務従事者からの聞き取りにより必要性が見込まれる投票所12か所、期日前投票所3台 6,486円(税込)×15台×=97,290円 コードリール 5,980円×10台×1.1=65,780円 ④投票所延べ18か所、期日前投票所、開票所	R2.8.1	R2.11.30	3,354,000	3,353,070	-	3,353,070	-	-	選挙執行時は、イベント等の開催には一定の制限が付される状況下であり、感染拡大の予防には十分に意を用いて選挙を執行する必要があった。 本事業の執行により投票票所内の設備等の整備を行った結果、選挙期日を挟んで2週間程度の期間において市内の感染患者数が増加傾向に転ずることもなく推移しており、選挙を契機とした感染拡大の予防に一定の効果があったものと考えられる。 また、各種選挙において下落傾向の続いている投票率が前回を上回る結果となったことから、投票の際の感染を危惧した選挙人が投票行動を控えることなく選挙を執行することができたことも、本事業の二次的効果として挙げられる。	

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	【実施計画】 総事業費 (円)	【実績】 総事業費 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
41	51	単	公共的空間安全・安心確保事業	生涯学習課 (青少年センター)	①施設来館者に感染機会を軽減し、安全・安心な空間を確保する。 ②安全な空間確保に係る衛生材及び備品購入費 ③加湿器付空気清浄機@39,270×5台=196,350円、フェイスシールド@2,600/5枚組×12セット=31,200円、消毒液ティスベンサー@9,570円×2か所=19,140円、液体せっけんティスベンサー@9,625円×5か所=48,125円、消毒液@5,005円/5リットル×6=30,030円、液体せっけん@8,745円/18リットル、ティスベンサー用乾電池4,552円、衝立用パイプビニール、ロックタイ6,080円 ④施設来館者	R2.8.1	R3.3.31	345,000	344,222	-	344,222	-	-	青少年センター及び市民交流センター内児童館への来館者の感染機会を軽減し、安全・安心な空間を確保することができた。 加湿器付空気清浄機@39,270×5台=196,350円、フェイスシールド@2,600/5枚組×12セット=31,200円、消毒液ティスベンサー@9,570円×2か所=19,140円、液体せっけんティスベンサー@9,625円×5か所=48,125円、消毒液@5,005円/5リットル×6=30,030円、液体せっけん@8,745円/18リットル、ティスベンサー用乾電池4,552円、衝立用パイプビニール、ロックタイ6,080円	加湿器付空気清浄機、各ティスベンサー等を設置することにより、より安全で安心な空間を確保することができた。
42	52	単	地域振興券事業	産業観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響によって停滞した地域の消費活動を促し、地域経済の活性化を図る。 ②事業費1万円×26,400世帯=2億6,400万円 事務委託料5,900万円 合計3億2,300万円 ③事業費1万円×26,400世帯 事務委託料5,900万円 ④市民及び市内事業者	R2.8.1	R3.3.31	323,000,000	285,202,120	-	273,874,821	-	11,327,299	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活を支援するとともに、停滞した地域の消費活動を促し、地域経済の活性化を図ることができた。 事業費交付額 250,340,000円 事務委託料34,862,120円	広く地域振興券を交付することで、市民生活の支援、地域の消費活動、地域経済の活性化を支援することができた。
43	53	単	キャッシュレス決済等推進事業	産業観光課	①事業者の売上向上や消費者の利便性向上を図り、併せて市内を訪れるインバウンドへの環境整備を推進する ②キャッシュレス機器の導入やキャッシュレスに合わせたインバウンド対応に係る経費の3/4を補助 ③対象数:50件×20万円(実費負担額の3/4、上限20万円)合計1000万円 ④市内中小企業・個人事業主	R2.9.1	R3.3.31	10,000,000	2,581,000	-	2,559,000	-	22,000	感染拡大防止とともに、事業者の売上向上や消費者の利便性向上を図り、併せて市内を訪れるインバウンドへの環境整備を推進することができた。 交付実績 2,581,000円(14件)	非接触型決済の導入に対して支援を行い、感染拡大防止の一助となったほか、事業者の売上向上や将来的なインバウンドの受け入れに向けての環境整備を行うことができた。
44	54	単	防犯カメラ設置事業	生活福祉課	①新型コロナウイルスの影響により経済が停滞する中、市内業者を用いた公共事業を行うことで地域経済活動の回復を促す。本市は、大阪府下で刑法犯認知件数1件当たりの防犯カメラ設置台数ワースト1位(平成30年)であることが課題であり、かつ、コロナ禍におけるステイホーム等地域滞在が増加したことを踏まえ、安全対策強化の一環として防犯カメラ設置による刑法犯認知件数減少の余地が大きく、設置要望が地元警察及び住民から多く上がっていることから、事業対象を防犯環境の整備とし、経済対策を兼ねた市の課題解決を図る。 ②防犯カメラ設置に係る経費 ③445,800円×13台=5,795,400円 ④市内事業者	R2.10.1	R3.3.31	5,796,000	5,793,500	-	5,793,500	-	-	防犯カメラを市内13か所に設置した。 13台分 一式5,793,500円	市内事業者による防犯環境の整備を行うことで、地域経済対策を兼ねた市の課題解決となった。
45	55	単	健康支援事業	保健推進課	①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の抑制 1)インフルエンザ予防接種のPRをすることで接種率を上げる。 2)子ども(6か月～小2)と9～59歳の心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能等に障がいのある方(身障1級相当)にインフルエンザ予防接種費用助成を行う。 1)2)を行うことにより、個人のインフルエンザの発症や重症化を予防すると共に、新型コロナウイルス感染症との同時流行を抑制し市民の命を守る。医療提供体制の負荷軽減にも資する。 ②1)インフルエンザ予防接種を促すPRに係る費用 2)子ども(6か月～小2)と9～59歳の心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能等に障がいのある方(身障1級相当)にインフルエンザ予防接種費用助成 ③1)インフルエンザ予防接種を促すPRに係る費用 ¥145,530 内訳・ポスター ¥17,270 ・折込チラシ ¥77,000 ・広報折込料 ¥51,260 2)負担金 2,880回分インフルエンザ費用助成 ¥9,783,682 ④子ども(6か月～小2)と9～59歳の心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能等に障がいのある方(身障1級相当)	R2.9.7	R3.3.25	9,930,000	9,929,212	-	9,929,212	-	-	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の抑制のため、インフルエンザ予防接種のPRを実施し、子ども(6か月～小2)と9～59歳の心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能等に障がいのある方(身障1級相当)にインフルエンザ予防接種費用助成を行った。 ・インフルエンザ予防接種を促すPRに係る費用 145,530円 内訳・ポスター 17,270円 ・折込チラシ 77,000円 ・広報折込料 51,260円 ・負担金 2,880回分インフルエンザ費用助成 9,783,682円	インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行抑制に寄与した。
46	56	単	子育て世帯支援活動事業	家庭支援課	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている子育て世帯の支援。 ②お弁当の無償テイクアウト・デリバリーの実施に必要な経費。補助金として対象事業者へ交付する。 ③上限120万円/団体 合計360万円を上限10団体へ配分 ④子ども食堂、ボランティア団体、小規模経営の飲食店業者等	R2.11.20	R3.3.24	3,600,000	1,707,000	-	1,707,000	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている子育て世帯の支援を目的として、お弁当の無償テイクアウト・デリバリーを実施する子ども食堂を運営する団体に補助金を交付した。 ・鳴滝区 507,000円 ・(特非)ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝 1,200,000円	経済的支援はもとより、長期間にわたる外出自粛等により子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっている中、地域における子どもの見守り強化につながった。

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
47	57	単	給食衛生環境 向上事業	教育総務課 (給食センター)	①給食時の配膳から喫食・片付けまでの子どもたちの作業をより安全に行うため、配膳時の間隔を広く保つため、配膳台を追加。 ②配膳台の購入に要する経費 ③配膳台@108,350×130台=14,086千円 ④市内小学校10校	R2.6.9	R3.3.31	14,086,000	14,085,500	-	14,085,500	-	-	給食時の配膳から喫食・片付けまでの子どもたちの作業をより安全に行い、配膳時の間隔を広く保つため、配膳台を追加した。 ・配膳台@108,350円×130台=14,085,500円	配膳台の追加により、給食時の配膳から喫食・片付けまでの子どもたちの作業をより安全に行うことができたため、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減することができた。
48	58	単	学校の臨時休業に伴う学習 等への支援事業	指導課	①中学3年生を対象に、学習状況の確認と進路相談等の一助とするため、民間の外部テストを実施する。 ②民間外部テスト(5教科)一式購入に係る経費 ③民間外部テスト購入費 @1,350円×600人×3回×1.1)=2,673千円 ④泉南市立中学校生徒	R2.11.1	R3.3.31	2,673,000	2,209,600	-	2,209,600	-	-	中学3年生を対象に、学習状況の確認と進路相談等の一助とするため、民間の外部テストを実施した。 ・民間外部テスト(5教科)一式購入費 @800円×2,762人分=2,209,600円	新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった全国学力学習状況調査等の代わりとし、卒業を目前とした生徒の学習状況の確認と進路相談等の一助とすることができた。
49	59	単	遠隔・オンライン 学習の環境 整備事業	指導課	①すべての子どもたちが学校等及び家庭において遠隔授業を実現するための大型モニターを設置する。 ②大型モニター及び設置工事、接続に要する経費及び児童生徒がオンライン授業に使用する端末を自宅に持ち帰り使用する際、その移動を安全かつ容易とするための端末ケース等 ③大型モニターと設置工事費、端末を保護するためのケース購入に要する経費 大型モニター等設置工事込 @130千円×146教室×1.1)=20,878千円 端末用ケース @2,500円×5,231台×1.1)=14,386千円 ④泉南市立学校園及び児童生徒	R2.7.1	R3.3.31	35,264,000	10,205,448	-	10,205,448	-	-	すべての児童生徒がオンライン授業に使用する端末を自宅に持ち帰り使用する際、その移動を安全かつ容易とするための端末ケースを購入した。 ・タブレット端末用ケース @2,046円×4,988台=10,205,448円	児童生徒に配付した全ての端末に専用ケースをつけ、端末を保護することに繋がられた。 ※大型モニターはNo.66に移動。
50	60	単	遠隔・オンライン 学習の環境 整備事業	指導課	①第2波以降による学校の臨時休業期間中も切れ目のない学習環境を提供するため、教員が学校園で使うICT環境の整備を行う。 ②教員校務用PC購入に要する経費 ③教員校務用ノートパソコン @110千円×20台×1.1)=2,420千円 ④泉南市立幼稚園	R2.7.1	R3.3.31	2,420,000	1,698,400	-	1,698,400	-	-	第2波以降による学校の臨時休業期間中も切れ目のない学習環境を提供するため、教員が幼稚園で使うICT環境の整備を行った。 ・教員校務用ノートパソコン @84,920円×20台=1,698,400円	幼稚園のICT環境整備を行い、担任等に1台ずつ専用のパソコン配付を行うことができた。
51	61	単	教育体制の緊急 整備事業	指導課	①園長の判断により感染症対策や学習等に必要取り組みを迅速かつ柔軟に実施する。 ②物的体制整備のための経費 ③児童の学習保障、支援するための教材購入費等 @1,000千円×2園 ④泉南市立全幼稚園	R2.4.1	R3.3.31	2,000,000	1,637,506	-	1,637,506	-	-	園長の判断により感染症対策や学習等に必要取り組みを迅速かつ柔軟に実施した。 児童の学習保障、保護者を支援するための教材購入費等 各種絵本602冊592,504円、191冊200,108円、せんのワーク@363円×(122+36)冊=57,354円、おけいこえんびつセット@330円×(122+36)冊=52,140円、パーテーション@2,860円×(32+20)枚=148,720円、さくひんバッグ@62.7円×(260+100)枚=22,572円、ぐにやぐにやだこ@190円×93個=17,670円、培養土@198×50個=9,900円、花苗、他21,126円、体温計@2,695円×18本=48,510円、ホワイトボード・マーカ@693円×215個=148,995円、丸ゴム@184円×45個=8,280円、リボン、他19,238円、カラー石灰@4,290円×2個=8,580円、粘土@194円×20個=3,880円、せんたく糊@249円×2個=498円、HDMIケーブル@1,980円×1、色画用紙@1,518円×10冊=15,180円、色上質紙@874.5円×16冊=13,992円、コーナー固定用パーツ@200円×64個=12,800円、マニラ紙@160×20枚=3,200円、ロール紙@2,430円×1個、粘土@194円×40個=7,760円、ボール紙、他25,077円、鉄芯コマ@165円×122個=20,130円、糸引きコマ@190円×89個=16,910円、手回しコマ@180円×40個=7,200円、竹熊手@428円×3本=1,284円、竹ほき、他2,692円、ポスターカラー@1,700円×4個=6,800円、ヘルメット@4,807円×4個=19,228円、色鉛筆@1,331円×1個、おもちゃ@2,900円×2個=5,800円、他遊具2,422円、ぼっくりかけらべ@500円×10個=5,000円、ニトリル手袋@1,320円×6個=7,920円、使い捨て手袋@885円×3個=2,655円、プリキゴマ@138円×36個=4,968円、コマ@230円×60個=13,800円、固定式非接触赤外線検温計@12,530円×4台=50,120円、靴カバー@500円×2個=1,000円、ポックリネコ@320円×23個=7,360円、グループ@2,299円×8個=18,392円	園長の判断により、より迅速かつ柔軟に園児の学習保障に必要な物品を購入し、保護者負担の軽減につながった。

一連No.	実施計画No.	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
52	62	単	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	生涯学習課(青少年センター)	①外出自粛を求められる子どもたちが、家庭で手元にある材料で簡単な工作体験ができるよう、独自の編集制作動画の配信及びライブ講座の実施事業。 ②動画配信及びライブ講座に係る機材及びソフト購入費 ③パソコン269,500円(ウェブカメラ付、動画編集ソフト、アンチウイルスソフト付)、動画撮影用カメラ42,020円、マウス・外付けDVD8,300円、ビデオカメラ用SDカード6,248円、無線wifiルーター17,300円、中継器12,650×2台=25,300円 ④市内小中学生等	R2.11.1	R3.3.31	369,000	368,668	-	368,668	-	-	外出自粛を求められる子どもたちが、家庭で簡単な工作体験ができるよう、動画の編集配信を行った。 パソコン269,500円(ウェブカメラ付、動画編集ソフト、アンチウイルスソフト付)、動画撮影用カメラ42,020円、マウス・外付けDVD8,300円、ビデオカメラ用SDカード6,248円、無線wifiルーター17,300円、中継器12,650×2台=25,300円	泉南市教育委員会のブランドチャンネル内で、子どもたち向けの簡単物づくり動画を配信することで、外出自粛中に家庭で楽しく過ごすことができる機会を作ることができた。
53	63	単	GIGAスクール構想事業	指導課	①子供たちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくため、児童生徒向けの1人1台端末を整備する。 ②児童生徒分(1/3)および担任分の学習用タブレット端末、タブレット保管庫、キーボードの購入 ③端末購入代:小学校分55,676千円(45,000×1,237台) 中学校分28,378千円(45,000×631台) 通信サービス料:小学校分37,441千円-25,700千円 =11,741千円 中学校分19,436千円-14,100千円=5,336千円 キーボード(25,000×400台)=10,000千円、保管庫:(50,000円×138台)=6,900千円 ④市立小中学校児童生徒及び教員	R2.4.1	R3.3.31	118,031,000	128,605,447	-	118,031,000	-	10,574,447	子どもたちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくため、児童生徒向けの1人1台端末を整備した。 端末購入代(本体):小中学校分@49,960円×(3,296+1,692)台=249,195,389円、通信サービス料@822.3円×(4,084+2,344+3,296+1,692)回線=16,113,648円、キーボード@4,290円×3,499台=15,010,710円、保管庫@15,214.3円×(108+46)台=2,343,000円、タップ@5,675円×(216+92)本=1,747,900円、@2,200円×(108+46)本=338,800円 計284,752,447円 (公立学校情報機器購入事業補助金:151,290,000円、家庭学習のための通信機器整備支援事業補助金:4,857,000円) 【単独事業費】 284,752,447円-151,290,000円-4,857,000円=128,605,447円	GIGAスクール構想実現のために必要な物品の購入等ができ、1人に1台のタブレット(付属物含む)やそれらを補完する設備を整えることができた。これらを活用し、子どもたちが変化に対応でき、これからの未来社会の参画に向けた備えにつながった。
54	64	補	介護保険事業費補助金	長寿社会推進課	(通いの場の活動自粛下における介護予防のための広報支援事業) ①外出自粛による在宅生活を支援するため、専門職が把握した地域資源や地域の状況について情報を集約し、共有する。 ②社会資源データベースシステムの活用 ③経費:1,892,000円 内訳: 初期費 1,100,000円 利用費 サービス情報共有(6か月分)792,000円	R2.7.1	R3.3.31	1,892,000	1,892,000	1,261,000	631,000	-	-	外出自粛による在宅生活を支援するため、社会資源データベースシステムを活用し、専門職が把握した地域資源や地域の状況について情報を集約し、共有を図った。 経費:1,892,000円 内訳 初期費 1,100,000円 利用費 サービス情報共有(6か月分)792,000円	地域の通いの場(地域資源)を一元化することにより、市内の専門職がオンライン上で活動状況等について情報共有することができ、必要に応じて市民へ情報提供を行うことができた。
55	65	補	学校保健特別対策事業費補助金	指導課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①臨時休業からの学校再開等にあたり、感染症対策を支援するための消耗品を購入する。 ②非接触型体温計、消毒液、使い捨てマスクの購入 ③非接触型体温計(22,000円×1個×14校)=308千円 手指消毒液(2,200円×14校×4個×10月)=1,232千円 マスク(83,300円×31箱)=103千円 ④泉南市立小中学校14校	R2.4.1	R3.3.31	1,643,000	1,939,560	821,000	822,000	-	296,560	臨時休業からの学校再開等にあたり、感染症対策を支援するための消耗品を購入した。 非接触型体温計@6,600円×80本=528,000円、手指消毒液@5,280円×90本=475,200円、@8,640円×30缶=259,200円、@1,419円×120本=170,280円、@3,234円×120本=388,080円、マスク@742.5円×160箱=118,000円	臨時休業からの学校再開等にあたり、感染症対策を支援するために必要な物品を購入することができ、感染症対策に大いに有効であった。

一連 No.	実施 計画 No.	補助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 【実施計画】 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
56	66	補	学校保健特別 対策事業費補 助金	指導課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障等にかかる支援 事業 ②物的体制整備のための経費 ③大型モニター(＠150千円×120台)=18,000千円、プロ ジェクター(＠100千円×20台)=2,000千円、網戸修繕 1,500千円、PC(＠250千円×42台)=10,500千円、コピー 用紙(＠500×2000冊)=1,000千円、学習教材(＠2,000 ×100)=2,000千円、使い捨て手袋等衛生用品(＠2,000 ×1000)=2,000千円、インク(＠10,000×100)=1,000千 円 ④泉南市立小中学校14校園	R2.9.1	R3.3.31	38,000,000	42,540,914	19,000,000	19,000,000	-	4,540,914	学校再開に伴う学校長裁量による感染症対策・学習保障等 にかかる支援を行った。 大型モニター@138,127円×124台=17,127,748円、専用台@ 6,765円×86本=581,790円、PC@81,114円×140台= 11,355,960円、@107,690円×20台=2,153,800円、プロジェク ター@88,770円×17台=1,509,090円、ドッチボール@1,390 円×10個=13,900円、体温計@2,695円×61本=164,395 円、習熟プリント@1,485円×9個=13,365円、@1,564.2円× 18個=28,155円、@1,782円×3=5,346円、@1,485円×7個 =10,395円、@1,980円×7個=13,860円、@1,386円×6個= 8,316円、@1,564.2円×6冊=9,385円、ワーク教材@1,922円 ×9冊=17,298円、算数まるごと@3,267円×6個=19,602円、 救急靴@4,752円×6個=28,512円、図形セット@17,391円× 2個=34,782円、タップ@968円×6個=5,808円、ポリエチ手 袋@1,100円×10個=11,000円、@409円×13個=5,317円、 タイマー@8,195円×22個=180,290円、ゴム手袋@283円× 150個=42,450円、防水シューズ@3,170円×2=6,340円、@ 3,230円×20個=64,600円、吸水シート@1,980円×5個= 9,900円、シューズカバー@1,670円×5個=8,350円、スプ レーボトル@4,645円×6箱=27,870円、フィットネスマット@ 7,900円×1個、発表ボード@6,300円×9個=56,700円、抗菌 ネットクリーナー@140円×100個=14,000円、四線黒板@ 31,100円×2個=62,200円、抗菌毛布@8,400円×2個= 16,800円、回転モップ@3,058円×14個=42,812円、ゴミ袋@ 115円×120袋=13,800円、EZCastUltra@15,950円×94台= 1,499,300円、オフィスソフト@18,106円×10個=181,060円、 電池@1,180円×3個=3,540円、インク@6,380円×33箱= 210,540円、マスター@13,200円×32箱=422,400円、インク @12,463円×12個=149,556円、@11,704円×4個=46,816 円、@660円×30個=19,800円、@4,400円×4個=17,600 円、@5,731円×2個=11,462円、@979円×18個=17,622 円、@6,130.1円×58個=355,542円、インクボトル@3,393円 ×14個=47,498円、トナー@5,203円×17本=88,451円、@ 8,800円×4個=35,200円、@10,450円×1個、@25,740円×3 個=77,220円、@36,960円×1個、ラミネートフィルム@1,265 円×7個=8,855円、1,078円×16個=17,248円、@902円× 21個=18,942円、@792円×12個=9,504円、ペーパータオル @4,851円×3箱=14,553円、@5,846円×3箱=17,538円、@ 1,955円×30個=5,850円、ティッシュ@4,015円×1箱、キッチン タオル@3,905円×2箱=7,810円、USBメモリ@1,970円×10 個=19,700円、泡石鹸ボトル@1,880円×2箱=3,760円、算 数ノート黒板@21,505円×2個=43,010円、パーテーション@ 1,985円×10個=19,850円、救急靴@5,670円×1個、マグ ネット黒板@7,247円×1個、鉄芯コマ@203.5円×24個= 4,884円、紙:A3@767.8円×53冊=40,693円、A4@347.6円 ×470冊=163,372円、B4@557.7円×525冊=292,792円、B 5@297円×372冊=110,484円、更紙B4@882.4円×832冊 =717,517円、インク@3,080円×126個=3,880,800円、マス ター@15,840円×44個=696,960円、タッチペン@764.5円× 450本=344,025円、@724.9円×300本=217,470円、インク @5,731円×2個=11,462円、@1,089円×12個=13,068円、 漢字カード@2,741円×6個=16,446円、@3,328円×4個= 13,312円、洗剤@3,122円×1箱、@312円×10個=3,120円、 @7,585円×1箱、キャップ@82円×1個、白板マーカー@836 円×10箱=8,360円、セクションボード@14,850円×1箱、レモ ン石鹸@8,674円×2箱=17,348円、石鹸ネット@1,628円×4 個=6,512円、大地図@21,999円×1個、バケツ@621.5円× 10個=6,215円、スプレーボトル@465.3円×31個=14,424 円、インク@715円×10個=7,150円、@660円×10個=6,600 円、マーカーセット@754.6円×144個=108,662円、白板マ ーカー@128.7円×300本=38,610円、サーキュレーター@ 18,304円×2個=36,608円、雑巾@826.1円×20パック= 16,522円、コーン@740円×40個=29,600円、バー@528円× 10本=5,280円、長靴@975×21個=20,475円、換気扇修繕 一式(新家東小)295,680円、網戸修繕一式(新家東小) 443,740円、網戸修繕一式(砂川小)590,700円、網戸修繕一 式(樽井小)700,700円、	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を 購入することができ、学校再開に伴う感染症対 策・学習保障等に大いに有効であった。また、 学校長裁量による購入をおこない、各校に必要な 物品をよきめ細かく供給することができた。

一連No.	実施計画No.	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	【実施計画】 総事業費 (円)	総事業費 【実績】 (円)	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 (円)	新型コロナ臨時 交付金充当額 (円)	その他 (円)	一般財源 (円)		
57	67	補	子ども・子育て 支援交付金	生涯学習課	①学校の臨時休業の期間に就労している保護者の支援のため留守家庭児童会の開所時間を延長して実施する。 ②留守家庭の開所に伴う費用 ③留守家庭児童会6カ所 超過勤務手当 2,800,000円 ④留守家庭児童会利用者 ※「F:その他」に記載する金額大阪府補助分	R2.5.1	R2.7.31	2,800,000	630,714	210,000	210,714	210,000	-	学校の臨時休業等の期間中に午前中から留守家庭児童会を開所し児童を受け入れた。 留守家庭児童会6カ所 超過勤務手当 630,714円	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業期間中においても、午前中から留守家庭児童会を開所し受け入れることで保護者が仕事を休むことなく安心して仕事をする事ができた。
58	68	補	子ども・子育て 支援交付金	生涯学習課	①感染拡大防止のため、市から要請等により留守家庭児童会(放課後児童クラブ)の利用を自粛した利用者を利用料を日割りで減額又は返還する。 ②留守家庭児童会利用料 ③347名×71日×174.5円/人=4,299,156円 ④留守家庭児童会利用者 ※「F:その他」に記載する金額大阪府補助分	R2.4.1	R3.3.31	4,300,000	2,892,822	964,000	964,822	964,000	-	市からの要請等により留守家庭児童会の利用を自粛していた利用者に利用料を日割りで返還、減額した。 延べ729名 返還額2,892,822円	市からの要請等により留守家庭児童会の利用を自粛していただいたことで、感染拡大防止につながった。
59	69	補	障害者総合支援 事業費補助金	障害福祉課	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業) ①特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増加することで負担が増している家庭への経済的支援として、利用者負担額の一部を補助する ②利用者負担増額分 ③月約6万円程度 ※「F:その他」に記載する金額大阪府補助分	R2.4.1	R3.3.31	720,000	138,197	103,000	-	-	35,197	特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増加することで負担が増している家庭への経済的支援として、利用者負担増額分を補助する。 補助実績額:138,197円(43名)	放課後等デイサービスの利用が増加し、負担が増した家庭への経済的支援にはつながった。
60	70	単	幼稚園等保健 対策事業費	指導課	①臨時休業からの学校再開等にあたり、感染症対策を支援するための消耗品を購入する。 ②除菌洗剤、消毒液、石鹸液、ペーパータオルの購入 ③除菌洗剤(①1,650円×240本)=396千円 手指消毒剤(②2,200円×(14校×4個×10月+2園×8個×10月))=1,584千円 石鹸液(③10千円×5缶)=50千円、ペーパータオル(④500円×90個)=45千円 ④泉南市立小中学校14校と幼稚園2園	R2.4.1	R3.3.31	2,075,000	637,885	-	637,885	-	-	臨時休業からの学校再開等にあたり、感染症対策を支援するための消耗品を購入した。 除菌洗剤@3,995円×15本=59,925円、手指消毒剤@1,419円×220本=312,180円、ポンプ@220円×50本=11,000円、除菌洗剤@1,650円×38本=62,700円、専用ボトル@308円×135本=41,580円、石鹸液@8,745円×4缶=34,980円、固定式非接触赤外線検温計@12,160円×4台=48,640円、キッチンペーパー@148円×126個=18,648円、PPプレート@748円×29枚=21,692円、電池198円×69個=13,662円、使い捨て手袋、その他12,878円	学校再開等にあたり、新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を継続して購入することができ、感染症対策に大いに有効であった。
61	71	単	児童扶養手当 給付金(第3次 補正)	家庭支援課	①児童扶養手当の受給者で、ひとり親世帯臨時特別給付金・再支給(国制度)の非該当者への支援 ②児童扶養手当を令和2年7月～令和3年3月に認定された方、1世帯につき50千円、第2子以降1人につき30千円加算。(需用費(消耗品費)、役務費(郵便料、振込手数料) ③(負担金)児童1人・50千円×50人=2,500千円、児童2人・80千円×15人=1,200千円、児童3人・110千円×10人=1,100千円、(需用費・消耗品費)10千円、(役務費)郵便料75件(84円×75=6,300円)、振込手数料75件(110円×75=8,250円)、振込手数料組戻し5件(660円×5=3,300円)、 ④児童扶養手当を令和2年7月～令和3年3月に認定された方	R3.3.1	R3.3.31	4,828,000	2,999,966	-	2,999,966	-	-	児童扶養手当の受給者で、ひとり親世帯臨時特別給付金・再支給(国制度)の非該当者に対し、国制度と同額給付金を支給した。 事業費:43世帯 2,990,000円 事務費:コピー用紙等 9,966円	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、新たにひとり親になり、国制度のひとり親世帯臨時特別給付金を受給できなかった世帯に対し、国制度と同様の給付金を支給し、ひとり親家庭の生活を支援した。
62	72	単	金融面での支 援等と併せて 行う事業者支 援事業	生涯学習課	①休業要請等に協力いただいている施設管理運営事業者に感染拡大防止のための協力金 ②今後の円滑な運営のための必要経費 ③市民体育館 576千円 テニスコート 206千円 市民球場 433千円 ④泉南市体育協会施設管理事業部	R2.4.1	R3.3.31	1,215,000	1,215,000	-	1,215,000	-	-	施設管理運営事業者が行う感染拡大防止のための協力金 市民体育館等の利用者への感染拡大防止、安全確保のための対策に対し、協力金の支援を行った。 市民体育館 576,000円 テニスコート 206,000円 市民球場 433,000円	施設管理者による共有使用物品(備品・器具・設備・トランプ等)の消毒等きめ細やかな感染拡大防止対策につながった。
63	73	単	金融面での支 援等と併せて 行う事業者支 援事業	文化振興課 (文化ホール)	①休業要請等に協力いただいている施設管理運営事業者に感染拡大防止のための協力金 ②今後の円滑な運営のための必要経費 ③文化ホール 824千円 ④国際ライフパートナー株式会社	R2.4.1	R3.3.25	824,000	824,000	-	824,000	-	-	施設管理運営事業者が行う感染拡大防止のための協力金。 文化ホール利用者への感染拡大防止、安全確保のための対策に対し、協力金の支援を行った。 文化ホール 824,000円	施設管理者による備品や器具の消毒等、きめ細やかな感染拡大防止対策につながった。
64	80	補	生活困窮者就 労準備支援事 業費等補助金	生活福祉課	(自立相談支援機関等の強化事業) ①自立相談支援機関等の強化事業 ②委託料 360,000円 ③委託料内訳 人件費 360,000円 ④自立相談支援機関	R3.2.1	R3.3.31	360,000	360,000	270,000	90,000	-	-	自立相談支援機関等の強化事業として、生活困窮者生活困窮者就労準備支援事業の委託契約を締結した。 委託料内訳 人件費 360,000円	コロナ禍の中、生活困窮者の就労準備支援のため、相談員を増員することで、自立相談支援機関の強化を行った。

一連 N o.	実 施 計 画 N o.	補 助 ・ 単 独	交付対象事業 の名称	担当課	【実施計画】 事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始 期	事業 終 期	総事業費 【実施計画】 （円）	総事業費 【実績】 （円）	事業実績財源内訳				事業の成果	事業の効果検証
										国庫補助額 （円）	新型コロナ臨時 交付金充当額 （円）	その他 （円）	一般財源 （円）		
65	81	単	新型コロナウイルス感染症 患者の治療等 を行う医療従 事者支援事業	保健推進課	①医療現場において、新型コロナウイルス感染症等の感 染の危険性と隣り合わせて医療、看護等の医療従事者等 に対して市内医療機関に慰労金にて支援し、応援をす る。 ②負担金、補助及び交付金 ③市内医療機関 病院 1,000,000円×8か所=8,000,000円 診療所等 200,000円×30か所=6,000,000円 歯科診療所 200,000円×15か所=3,000,000円 薬局 200,000円×6か所=1,200,000円 計 18,200,000円	R3.2.1	R3.3.31	18,200,000	18,200,000	-	18,200,000	-	-	医療現場において、新型コロナウイルス感染症等の感染の 危険性と隣り合わせて医療、看護等を提供する医療従事者 等に対して市内医療機関に慰労金の支援を行った。 市内医療機関 病院 1,000,000円×8か所=8,000,000円 診療所等 200,000円×30か所=6,000,000円 歯科診療所 200,000円×15か所=3,000,000円 薬局 200,000円×6か所=1,200,000円 計 18,200,000円	新型コロナウイルス感染症がまん延する状況下 において、感染リスクのある中で、市民への医 療等の提供により、治療の継続及び疾病の早 期発見等市民の健康に寄るとともに、受診 控えもみられる状況で、医療機関等へ経済的支 援にも寄与した。
合 計								1,100,218,000	882,096,377	29,521,000	782,501,000	41,924,000	28,150,377		